

一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会 御中

2015年 7月24日

逢えてよかったね友だちプロジェクト

代表 有限会社ジル 小原孝

<推薦者> 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (PTNA) 福田成康

東日本大震災心の復興支援「逢えてよかったね友だちプロジェクト」

小原孝 ピアノコンサート2015～弾き語りフォーユー 実施報告書

日時 2015年6月7日(日) 14時～15時

開場 大槌町中央公民館

出演 小原孝(ピアノ) 細貝終(ピアノ連弾)

大槌童謡を歌う会(合唱) キッズコーラスあぐどまめ(合唱)

児玉奈佳(合唱指導・指揮)

ボランティアスタッフ 2名

曲目 ひよっこりひょうたん島

花は咲く

カッチーニのアヴェマリア

ノクターン作品9-2(ヴァリエーション付き)/ショパン

仔猫と子犬のワルツ/ショパン

アルハンブラの思い出/タレガ

トルコ行進曲/モーツァルト

めだかの学校～静かな湖畔～茶つみサンバ～汽車は走るよ(連弾)

逢えてよかったね/作詞作曲:小原孝(合唱)

ボレロ/ラヴェル

赤とんぼ

来場者:約200名

目的 東日本大震災心の復興支援「逢えてよかったね友だちプロジェクト」は2011年にスタート。当初は支援CDをレコーディングしてCD・楽譜・楽器を被災地にお届けする活動からスタートしました。2013年から、支援CD・楽譜・楽器をお届けした被災地の皆さんと一緒に作る音楽会にも取り組み、本年は、2013年4月に開催したサントリーホール大ホールの演奏会にご招待して「逢えてよかったね」を共演した大槌町の合唱団の地元に向い再会・再演。2年前にした再会約束を果たす

と共に、音楽を通した復興や支援への想いを、地元も皆さんに訊いて戴くチャンスを作りました。

また自主製作の演奏会ですので、ホールをお借りしてパンフレットや調律も地元の印刷所や楽器店にお願いして、一緒に演奏会を作ることが少しでも地元の活性化に繋がるよう考えています。

報告 6月6日(土)

岩手県に移動。盛岡からはレンタカーで、2013年に同プロジェクトで最初のコンサート伺った、岩手県宮古市に移動。2年前と現在の復興の状況の変化について地元の皆様のお話やご意見を伺いました

2年前に行った場所～岩泉・小本・田老・浄土ヶ浜・津軽石へ足を運び、復興の状況を確認。三陸縦貫自動車道など復興道路・復興支援道路の計画が急ピッチで進んでいる模様で、トラックや工事機材などが目立って増え、それに伴い土木関を中心に地元の方の仕事を増えて、活気が出てきている事が感じられます。その一方、全く手が付けられないで更地のまま残っている場所や仮設住宅まだまだ多く、時間が経つにつれて、復興が進んでいる地域と滞っている地域の格差が広がっているようです。

浄土ヶ浜ビジターセンターは立派な施設となり、津波の恐ろしさについて学べる資料も充実しています。2年前は閉鎖中だった宮古市民会館も2014年12月に漸く復旧していました。

ただ、2年前に宮古で一緒に共演した合唱団の皆さんや学校関係の先生方の中には、当時から他の場所へ移動や転勤した皆さんも非常に多く、色々な面で過渡期に突入しているのではとも感じられました。

6月7日(日)

宮古から大槌町へ移動。大槌に入ると他の地域と比べて復興の進捗が遅れているのは一目瞭然なのがよく分かります。ひょっこりひょうたん島のモデルとなった「蓬莱島」の周辺は壊れたまま残っているものも多く、大槌町旧役場庁舎の時計は津波が襲った時刻を刺したまま止まっていました。そんな状況にも拘らず、合唱団の皆様や手伝って下さった皆様は、細やかな心使いで暖かく迎えて下さり、それだけでもこちらが感謝気持ちがいっぱいになりました。

コンサートの様子は、推薦して下さった全日本ピアノ指導者協会のHPで詳しくアップされていますのでご覧ください。

http://www.piano.or.jp/info/news/2015/06/17_19809.html

大槌はまだ仮設住宅にお住まいの方も多く、客席は離れ離れの仮設住宅にいてしば

らく会っていない人たちの再会の場にもなっていました。更に、2年前に宮古で共演した合唱団の方々や、東京から応援に駆け付けて下さった皆さんもいて、改めて音楽の輪と人の繋がり、そして心の復興支援活動をこれからも継続して行く事の大切さを、コンサートを通して学びました。

経費	交通費	新幹線代	¥ 1 0 4 8 2 0	(東京⇄盛岡2名+京都⇄盛岡1名)
		レンタカー代	¥ 2 3 8 9 5	(2日分+ガソリン代含む)
		高速代	¥ 8 2 0	(花巻空港本→盛岡南片道のみ)
宿泊費	宮古3名分	¥ 2 9 4 0 0	(宮古ルートイン)	
	盛岡3名分	¥ 2 6 4 0 0	(メトロポリタンホテル盛岡)	
その他	印刷代	¥ 3 0 0 0 0	(チラシ・ポスター・整理券)	
	印刷代	¥ 9 7 2 0	(当日配布物)	
	郵送費	¥ 1 7 6 2		
	調律代	¥ 1 6 2 0 0		
	会場費	¥ 2 1 3 0		
	合計	¥ 2 4 5 1 4 7		

申請した支援金希望額 ¥ 2 7 3 0 0 0 でしたが、実際にかかった経費総額は ¥ 2 4 5 1 4 7 (△¥ 2 7 8 5 3) となりました。

(※一行4名中位支援対象外1名分を除いた3名分の経費です)

☆大槌のコンサートレポートは小冊子にまとめて秋頃に完成予定、小冊子は出来上がり次第、関係者・支援者に順次お送り致します。

2013年(宮古&石巻) 2014年(気仙沼&岩沼)分の小冊子はまだ在庫がありますのでご覧になりたい方は下記までご連絡ください。

〒213-0033 川崎市高津区下作延1-3-32 有限会社ジル

「逢えてよかったね友だちプロジェクト」係



まだまだ復興途中の街の風景



大槌町中央公民館から見た街、漸く更地になった状態。



コンサートの様子



東日本大震災心の復興支援曲「逢えてよかったね」大合唱。



連弾：細貝 悠



大槌童謡を歌う会&キッズコーラスあぐどまめの皆さんと



旧大槌町役場 時計はあの時止まったまま。